



# 地域の活力は「人」

## ～令和2年度に実施する主要施策～

令和2年度は、引き続き「地域の活力は人である」との考えのもと、①人口増対策、②産業の振興、③市民生活の向上という3つの柱を重点とし、各種施策を実施します。

※（ ）内は予算額

## ② 産業の振興

昭和の町の再活性化や企業誘致・設備投資の促進など、観光・商工業の振興、農林水産業の振興に取り組みます。

### (1) 観光振興

- 昭和の町 リ・ブランディング事業 (1,630万円) **【新規】**  
令和3年度の「昭和の町誕生20周年」に向けて、昭和の町の再活性化に取り組みます。
- 長崎鼻パーフェクトビーチ整備事業 (5,023万2千円) **【継続】**
- 芸術文化振興事業 (1,595万4千円) **【新規】**  
長崎鼻にアート作品を新たに設置し、本物の芸術に触れる機会の創出による魅力向上を図ります。
- 日本遺産推進事業 (700万円) **【継続】**  
日本遺産『鬼が仏になった里「くにさき」』を活用した、観光振興や地域活性化を推進します。



### (2) 商工業・農林水産業の振興

- 玉津プラチナ通り元気いっぱい事業 (1,300万円) **【拡充】**  
玉津プラチナ通りの10周年イベントやトリックアートの補修等を行います。
- 水産環境整備事業 (480万円) **【新規】**  
県営事業として藻場造成や水産生物を保護育成するための増殖場を整備します。※予算額は市負担分。



## ③ 市民生活の向上

各種公共サービスの充実などに取り組みます。

- 火葬場(悠久の杜)の使用料無料化 **【新規】** →P14参照  
市民負担軽減のため、火葬場使用料を無料とします。
- 循環型乗合タクシー実証実験運行 **【拡充】**  
市民乗合タクシー(予約制含む)の運行に加え、市中心部の病院やスーパー等を循環する乗合タクシーを試験運行します。



## ① 人口増対策

安心して子どもを産み育てられる環境のさらなる充実や、市民ぐるみの健康づくりに積極的に取り組みます。

### (1) 子育て支援・教育環境の充実

- 「健康交流センター花いろ」に“子ども家庭総合支援拠点”と、“子育て世代包括支援センター”を併設 **【新規】** →P12参照
- 妊産婦医療費の無料化 (300万円) **【新規】** →P12参照
- 不活化ポリオ・三種混合ワクチンの追加接種費用の助成 **【新規】** →P12参照
- 保育士等処遇改善事業 (180万円) **【新規】**
- 教育支援センター(ビリーブ)の改築・ICT環境の整備等 **【新規】**
- 一時預かり事業 (960万1千円) **【拡充】** →P13参照  
「花っこルーム香々地」でも新たに一時預かりがスタートします。
- スポーツの力でまちを元気に!! 推進事業 (459万5千円) **【拡充】**



### (2) 健康で長生きしていただくための施策

- 「地域で健康づくり」応援事業 (498万5千円) **【拡充】**  
サロンへの運動推進員の派遣や健康チェック等により、認知症予防・介護予防を行います。
- がん検診等実施事業 (3,794万5千円) **【拡充】**  
女性特有のがん対策のため、HPV検査を追加実施します。

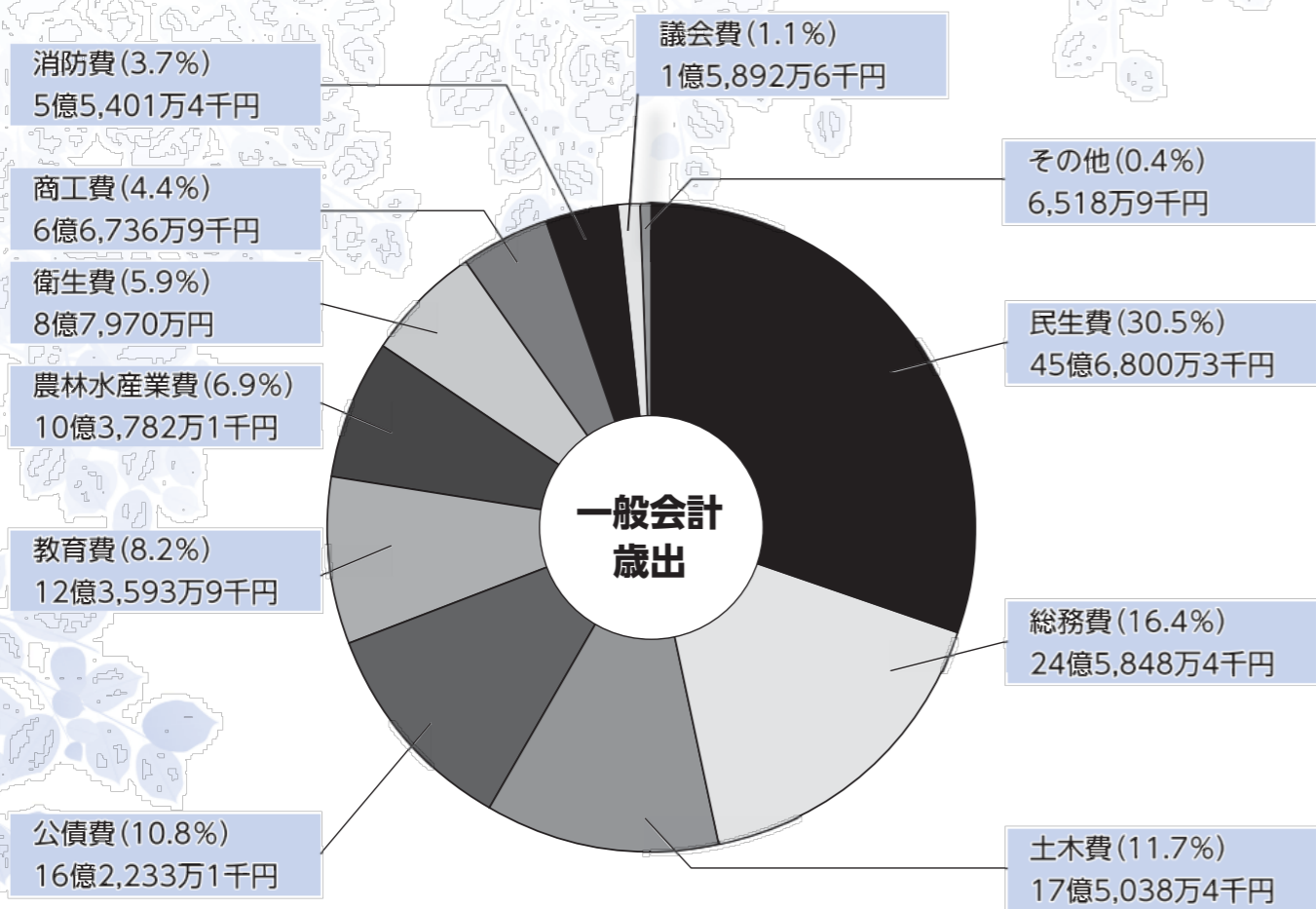


### (3) 移住、定住対策

- 空き家活用促進事業 (1,608万1千円) **【拡充】**  
移住促進に向けて、空き家バンク制度への登録推進や物件のリフォームなどを支援します。



## 一般会計 歳出の内訳



民生費	子育て支援や介護予防、敬老会事業、児童や高齢者、障がい者の福祉などにかかる費用
総務費	税務、戸籍、選挙などの行政運営や各種基金の積立などにかかる費用
土木費	生活道路の改良や補修、公営住宅や公園の管理などにかかる費用
公債費	市の借金（市債）の返済にかかる費用
教育費	学校の改修など教育環境の充実や生涯学習、文化、スポーツ振興にかかる費用
農林水産業費	ほ場整備や有害鳥獣対策などの農業や林業、種苗放流事業などの水産業の振興にかかる費用
衛生費	健診や予防接種など、市民の健康増進やごみ処理などにかかる費用
商工費	長崎鼻などの拠点整備などによる観光振興、商店街振興や中小企業対策などの商工業の振興にかかる費用
消防費	防災対策や消防・救急などにかかる費用
議会費	議員の政務活動や市議会の運営にかかる費用
その他	雇用対策や予備費などにかかる費用

<令和元年度一般会計補正予算（専決処分）>  
**■補正額 8,000万円 ■補正後の予算総額 162億1,343万4千円**  
 ふるさと納税の寄附金について、12月補正予算で増額した額を、月末時点で上回ることとなり、早急に予算措置する必要があったため、専決処分により返礼品等の必要経費と基金積立金を増額しました。

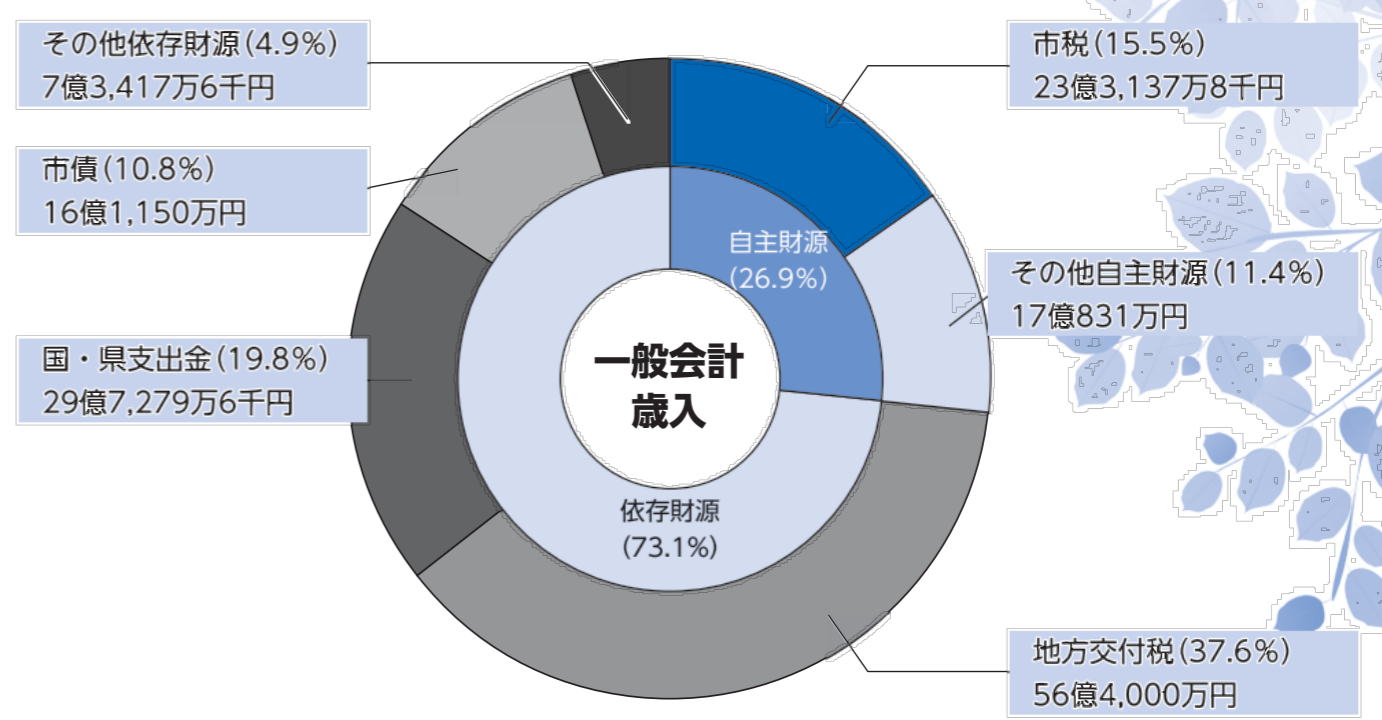
<令和元年度3月一般会計補正予算>  
**■補正額 13億6,476万円 ■補正後の予算総額 175億7,819万4千円**  
 主に、公債費負担の平準化を図るため、市債の繰上償還をするための必要経費を計上しました。

# 令和2年度の当初予算をお知らせします

## ■予算の概要

一般会計の歳入歳出予算総額は、**149億9,816万円**で、前年度当初予算に比べ**1億3,827万4千円（0.9%）**の減となっています。

## 一般会計 歳入の内訳



自主財源	市税	市民税や固定資産税などの税金 ※前年度に比べ4,000万円程度の増を見込む。
	その他自主財源	公共施設の使用料や各種証明手数料、貸付金の元利収入、寄附金など ※前年度に比べ、ふるさと納税の増額を見込む一方、財源不足を補う基金繰入金が大きく減額。また、新たに火葬場使用料の無料化により減額となる。
依存財源	地方交付税	どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるように国から交付されるもの ※前年度に比べ7,800万円程度の減を見込む。
	国・県支出金	国・県からの補助金など ※創意工夫に基づく計画が、国・県に認定され、もらうことができる交付金を積極的に活用するなど、財源の確保に努める。
	市債	市が借り入れる借金 ※返済額の一部が地方交付税に加算される有利な地方債を中心に借入を行う。
	その他依存財源	地方譲与税や地方消費税交付金など